

女性の力で会社を変える

経営トップ講義

① @県立大 2019~20

「ビジネス経済の実践」要旨

③



「失敗を恐れずチャレンジしてほしい」と話す百武取締役副社長
●県立大佐世保校(山下哲嗣撮影)

第百不動産取締役副社長

ひゃくたけ かずこ
百武 和子氏(51)

主な業務は不動産の賃貸や売買、分譲、新築など。これからは、常に変化を繰り返す企業だ。今年からマンスリーマンションや建売住宅など新規事業を始めた。
女性が各事業のリーダーとなり、会社を支えている。マンスリーや建売住宅、お客さまのお困り事に対応する「レスQセンター」などは、女性たちが自ら考えて発足させ

た。不動産業界は男性色が強いように思われがちだが、女性が第一線で活躍している。人とのつながりや分かち合いを大切にし、自分の役割を的確に果たしている。
会社経営で一番大切にしているのは「人」だ。素晴らしい経営者は人間関係を大事に

している。明るく前向きでモチベーションの高い人は、自然といい人脈ができ、成功につながるやすい。
皆さんはまだ若く、いろいろな可能性を持っている。臆することなくチャレンジしてほしい。失敗してもいい。成功につながる大切な経験にな

いと思う。
今は激動・競争の時代といわれる。だが、自分と他人を比べることにあまり意味はない。比較すべきなのは、現在の自分と過去や未来の自分。過去の自分と比べて成長でき

一番大切なのは「人」

私が求める人材は①気付き力がある②気配りができる③想定内に見える。気付き力がある人は、物事をさまざまな角度から見ることができる。気配りができる人は、相手思いやる気持ちがある。仕事を想定内にするためには、事前にさまざまな準備が必要だ。これらを無意識に習慣化できるように社会人になってほしい。
(湯村高大)

次回(26日)に掲載します

る。世界を変えるくらいの意欲と熱意を持ち、人生を歩んでほしい。
以下は百武茂樹代表取締役社長(63)。
小学生の頃から社長になるのが夢だった。中央大商学部を卒業後、建設会社や不動産会社で営業を経験。1989年に創業し、チャレンジを続けている。
明確な目標を持ち、それを一つずつ達成していくことが夢の実現につながる。誰でも分かっていることだが、実践できている人はほとんどいないと思う。

そのために私はノートを使う。ページを半分にして、左にはその日にあったことを書く。右にはその時の素直な思いや、反省したこと、改善したいことを書く。数年後に過去のノートを見ると、どれだけ自分が成長できたかを確かめられるし、未来も予測できる。
世界を変えるくらい意欲と熱意を持ち、人生を歩んでほしい。